

～シンガポールのスイーツについて～

北星学園女子中学校 奥村咲月

【はじめに】

私は食べることがとても好きで特にスイーツが大好きなので、シンガポールにはどのようなスイーツがあるのかを調べてみようと思いこのテーマにしました。

出発前にシンガポールのスイーツについてインターネットを使い、調べてみました。

その結果、フワフワのかき氷や、マーライオンアイス、カラフルな色が特徴のギャラクシーアイスなどが人気だということがわかりました。

他に、もち米やココナッツを使って作られた Nonya Kueh(ニョニャクエ)というマレーシアから伝わったシンガポール版の様々な具材が入れられているかき氷 Ice Kachang(アイス・カチャン)などの伝統的なスイーツもあるそうです。

【現地での調査結果】

〈実際に食べたスイーツ〉

・ Ice Kachang(アイス・カチャン)



事前に調べて食べたいと思っていたアイス・カチャンを食べることができました。とてもカラフルでアイス・カチャンの中ではシンプルな方のものでしたが、上部にはアイスクリームもついてとても美味しかったです。暑いシンガポールで過ごすにはぴったりなスイーツです。

・ Nonya Kueh(ニョニャクエ)



ニョニャクエも事前に調べていた時に出てきていたもので食べられてよかったです。食感はモチモチしていて、ほんのり甘い感じでした。私はすごく好きな味でとても美味しかったです。

・ Pandan Cake(パンダンケーキ)



パンダンケーキはシンガポールに行ってから知ったスイーツで、パンダンという植物を原料として作られています。

ホストマザーが朝ごはんまでパンダンケーキを出してくれることが何回もあり、日常的に食べられているスイーツなのだと感じました。

【まとめ】

滞在中の2週間で、紹介したのものも含め、たくさんのシンガポールのスイーツを食べることができました。日本では食べたことのないスイーツも食べることができてとても嬉しかったです。逆に日本でも食べたことあるスイーツでもシンガポールでは少し違う味だったり、食感が違ったりと同じ名前のもので全然違うものだと、新しいものを食べているみたいで面白かったです。

【おわり】

今回の14日間のシンガポール滞在は本当に楽しいものでした。初めて見るもの、食べ物、場所だらけでとても新鮮でした。私のホストファミリーがあまり英語を話せなかったこともあり、なんとか自分で伝えてみよう頑張ってみたり、私のぐちゃぐちゃな文法でもバディに伝わることもたくさんあったりしました。無理に完璧な文法で話そうとしなくても、ジェスチャーや自分が知っている単語を繋げて伝えてみるだけで相手に伝わるということを実際に経験できました。

自分の言いたいことが相手に伝わった時は本当に嬉しいし、もっと頑張ってみようという気持ちになりました。バディの学校の体験入学ではバディの友達がたくさん話しかけてくれたり、休み時間にみんなでUNOをしたりと、とても楽しい時間を送ることができました。

この事業に携わってくれたすべての方々、本当にありがとうございました。

シンガポールで過ごした14日間は私の大切な宝物です。

